



187 NW1 2NJ vol.1



For adult only



mechi

## Contents

re:S3-1	3
共謀	15
碧い星	41
寝物語【会話】	53
おいしゃさんごっこ	62
We Found...	76
契約	87
オリの自由	114

re:S3-1

---

神様の元に召されたはずの愛しい人は、なぜこんなタイミングで、わざわざ婚約者にプロポーズしようという最悪のタイミングで、のこのこと戻ってきたのだろう？

シャーロック、愛しい人、僕の恋人、僕の光、僕の唯一の支配者。

2年前、僕の目の前で屋上から飛び降りて、死んだ。

——死んだはずだった。

「面白ければ許されると思って…」

しゃあしゃあと心底ムカつくニヤけ顔は言葉尻を濁し、本気で「そう」思っているのがわかりついテープルを殴っていた。

視界が怒りで赤く染まってくのがわかる。

「怒りに任せてもいいことないぞ」

この後に及んで冷静に僕をたしなめようとする、たしなめられる筋合いなんて、ない。

『どうして、生きてるって教えてくれなかった？』

『どうして生きてる、どうやった？』

『なんでいま？』

聞きたいことがぐるぐると頭の中を巡ってうまく舌が動かない、チクシヨウ。

暴れる心臓に殴りつけられた肺が、ハッと短く息を吐き出すだけ。

言葉を失った僕をさらにおちよくるように、少し小馬鹿にしたような笑みを漏らしながら、

「でそのヒゲ、マジ？」

って。

舌をうまくコントロールできていれば『サノバビッチ！』くらいは罵ることもできたのに、とにかく、全身全霊の怒りを込めて彼の胸ぐらを掴み馬乗りで殴りかかった。

「認めろよ、僕が恋しかつたんだらう？」

この地獄からいつたいどうやって召喚されてきた悪魔は、どうしてそんなにもガラガラした瞳で僕の瞳を覗